

ご案内

戦後、焼け野原にブギウギを  
歌う天才少女が現れた!



# 美空ひばり 昭和の歌には、 心があった

著者：美空ひばりを最も良く知る 元NHK紅白歌合戦プロデューサー 矢島敦美



## 目次

- 序章…昭和の歌には心があった
- 第1章…戦後に響いた「ひばりの歌声」  
ブギウギを歌う「天才少女」現る  
平和が戻ってきて、焼け跡の町には歌声が流れました。  
本当に人生って川の流れのようなものね(美空ひばり)
- 第2章…今日の我に、明日は勝つ!  
今日涙して明日笑おうぞ。(美空ひばり)
- 第3章…**Love Come To Me**  
(日本語訳：恋人よ我に帰れ)  
初恋は人生にとってもっとも美しく、清いものだと思います。(美空ひばり)
- 第4章…**歌はわが命**  
私が生かされる場は、ここなの。なぜなら、私はそのために  
生まれて来たのだし、そのために生きてきたんで  
すもの。(美空ひばり)
- 第5章…**不死鳥！大地に舞う**  
ひばりに引退はありません。ずっと歌い続けて、いつの間  
にかいなくなるのよ。(美空ひばり)

- ISBN978-4-86563-058-9
- 文庫判 128頁
- 本体価格600円+税

## 筆者紹介 矢島敦美 (やじま・あつみ)

元NHK紅白歌合戦プロデューサー。第14回紅白歌合戦、S38年(1963)で81.4%の最高視聴率を記録。美空ひばりと同じ年生まれで、長年担当し最も美空ひばりを知る人といわれる。また、当時、キャンディーズをNHKの新番組『歌謡グランドショー』のマスコットガールとして募集し、名付け親でもある。

昭和12年(1937)東京に生まれる  
昭和34年(1959)NHKに入局、横浜放送局に赴任  
昭和35年(1960)東京・番組制作局に異動「のど自慢」「歌謡曲番組」  
「紅白歌合戦」ラジオ第1/第2で初のステレオ放送  
昭和39年(1964)大型汎用コンピューター機導入による番組制作の効率化  
昭和41年(1966)番組制作局に戻る  
「夢で逢いましょう」「グランドショー」「風の軽音楽」「レッツゴーヤング」「アニメ」「思いでのメロディー」「大阪万博」「つくば科学万博」「横浜博覧会」「神戸グリンピア」「国民文化祭」「ベニーグッドマン/デューク・エリントン/カウント・ベイシー/マイルス・ディビス/クインシー・ジョーンズ」などの招聘アーティストの収録  
平成3年7月(1991)退職



## 美空ひばりプロフィール

▲1949年 第一回オール横浜  
総合芸能コンクール(当時7歳) (みそら ひばり/1937年5月29日-1989年6月24日)

横浜市磯子区出身の歌手、女優。本名は「加藤 和枝」(かとうかずえ)。昭和の歌謡界を代表する歌手として著名な人物であり、女性として初めて国民栄誉賞を受賞した。ひばりの歌唱力の可能性に気づいた母・喜美枝が、終戦間もない1945年に私財を投じて「青空楽団」を設立。8歳のときに初舞台を経験。1949年に日劇のレビュー「ラブ・パレード」で「セコハン娘」「東京ブギウギ」を歌い踊る少女として出演したところ注目を集め、同年3月に東横映画『のど自慢狂時代』でブギウギを歌う少女として映画初出演。同年8月に松竹『踊る竜宮城』の主題歌「河童ブギウギ」(B面)でレコードデビューを果たす(当時11歳)。12歳の時に主演を務めた松竹映画「悲しき口笛」が大ヒットとなり、担当した同主題歌も当時の最高売上記録となる45万枚を記録し国民的知名度を獲得。その後も数々のヒット曲を生み出し「歌謡界の女王」と呼ばれるようになる。1500を超える曲を録音し、「悲しき口笛」、「東京キッド」、「リンゴ追分」、「港町十三番地」、「柔」、「悲しい酒」、「おまえに惚れた」、「愛燦燦(あいさんさん)」、「みだれ髪」、「川の流れのように」などなど、放ったヒット曲は数知れない。52歳の若さでこの世を去る直前まで歌い続け、現在でも「永遠の歌姫」として根強い人気を誇っている。

キリトリ線



お近くの書店へお出してください 全国の書店でお求めいただけます

美空ひばり 昭和の歌には、心があった	ISBN978-4-86563-058-9 本体価格600円+税	冊	書店名 / 販売店
お名前			申込月日 月 日
住所 〒			
TEL.			

発行・発売 三冬社 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2 TEL.03-3231-7739/FAX.03-3231-7735